

委員質問・意見等

第 130 回定例会（4 月 9 日）受付分

● 規制庁・規制委員会 に対する 質問

新規制基準は『世界最高水準の基準』ということですが、何故コア・キャッチャーを義務づけないのですか。

溶融した燃料を閉じ込め冷却する装置のコア・キャッチャーを義務づければ、メルトダウンしても福島原発事故のような汚染水問題は起きないのではないのでしょうか。

コア・キャッチャー装置は、水蒸気爆発の危険を回避できる、コア・コンクリート反応を防げるとも聞いています。

また、欧州ではコア・キャッチャー設置義務規則があるとの事です。

放射能災害を防ぐ上で必要な装置と考えますが、新規制基準にコア・キャッチャーを義務づけない理由をお聞かせ下さい。

● 東京電力・資源エネルギー庁 に対する 質問

別紙参照

■ 電力需要の経年変化と今後の予測等に関する事を東電と資源エネルギー庁に問う。

東電は2014.03.28に「平成26年度供給計画」の届出を行い、別紙で最大電力(kw)と販売電力量(kwh)を公表し、04.09の第130回地域の会に資料として配付した。

巷では、原発が停止したため、「老朽施設をむち打ち綱渡りの供給をしている」とか「原発の停止で燃料費が高んで国益が損なわれる」との主張が繰り返されてきた。

電力需要の経年変化から、こうした主張には根拠がないと考えるので確認したい。

最大電力は必要な発電所施設に関連し、販売電力量は電力会社の経営の基本の収入に直接関係すると理解する。

最大電力は2001年に記録した6430万kwの8割程度の5000万kwに届いていない状況で推移している。

販売電力量は2007年に記録した2974億kwhの9割程度の2700億kwhに届いていない状況で推移している。

電事連の電力統計を確認したが、燃料の増は東電トラブル隠し後や中越沖地震後と比較して、必ずしも大きくないようである。3.11以降、LNGの増大は確認出来たが石炭他は増えていないようである。

過去にもトラブル隠し事件後や2007新潟県中越沖地震後も原発が停止し燃料費が増加した例がある。

3.11以降は、宣伝されているほど燃料費は増大していないのではないのか。

熱効率は原発が1/3程度に対し、LNGコンバインド火力は6割近くである。100の電気を得るに原子力は300の熱エネルギーが必要だがLNGなら170で済むことになる。「供給計画・別紙」の2頁電源設備計画にLNG火力が多数あることもこうした背景があると考えられる。

過去の地域の会で、資源エネルギー庁が過大な需要想定をしていることや電源別発電量の想定が右肩上がりであるとして疑問を呈してきた。少子高齢化・成熟社会となった日本では現実を踏まえた堅実な対応が求められていると考える。よって、以下事項を確認したい。

東京電力に対しての質問

Q1: 最大電力が過去最大と比較して2割減、販売電力量が過去最大と比較して1割減であり、今後も同様であることを認めるか。

Q2: 最大電力が発電所の設備規模を決定すると理解して良いか。

Q3: 最大電力が2割も減っている事実と高性能LNG火力を増設している事実は、「老朽施設をむち打ち綱渡りの供給をしている」は根拠のない宣伝でないのか。

Q4: 東電の2000年以降の「燃料費高騰・国益が損なわれる」を示す石炭、石油、LNG、原子力等の燃料使用量(キロリットル等)と代金(円)を示されたい。

Q5: 東電は、販売電力量が過去最大の2007年に比較し1割減であり、今後も同様傾向にある(10年後は2802億kwhでも2007年の2974億kwhに満たない)と推測している。この事実は、電力の販売を主目的の電気事業者にとって、売り上げが増えない中で、以前には想定していなかった福島事故の補償や廃炉措置に莫大な負担が発生することを意味すると考える。これで健全な事業が成り立つのか。

資源エネルギー庁に対する質問

Q1: 3.11直前の電力需要の実績と想定を次図に付した。事故後3年を経過し、需要想定が過大で誤りだったと考えるがその事実を認めるか。

Q2: 図の想定は、依然として右肩上がりの拡大を想定しているが、想定を誤りを認めるか。事故後に需要想定を改めたのか。最近の類似の想定図(表)または資料は、どこにあるのか。

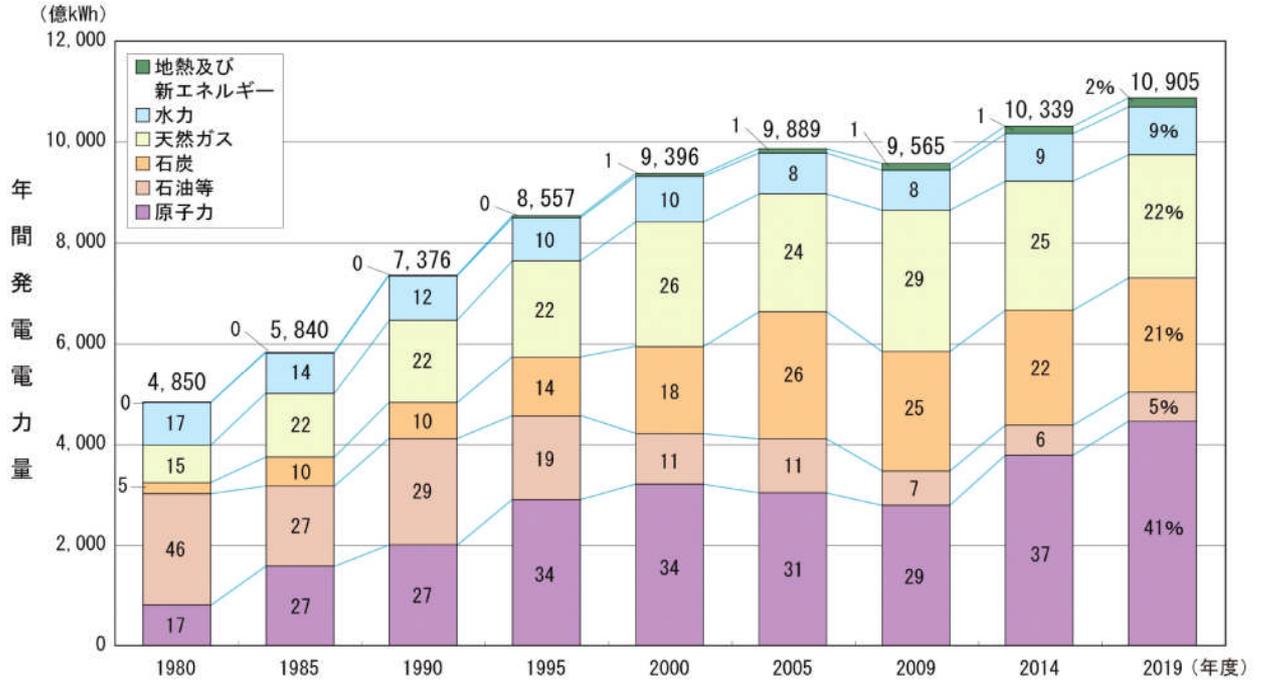
Q3: 図から、実績としては、石油の減少とLNGと石炭の増大が読み取れる。予測としては原子力の異常な拡大が読み取れる。地球温暖化対策としてCO2削減を宣伝しながら石炭の拡大は矛盾しないのか。

Q4: 全国の2000年以降の「燃料費高騰・国益が損なわれる」を示す石炭、石油、LNG、原子力等の燃料使用量(キロリットル等)と代金(円)を示されたい。

Q5: エネルギー政策では、高効率の発電所と省エネが基本であるべきと考えるが、この認識は誤りか。

Q6: 熱効率が低い原子力は高効率のコンバインド方式のLNGや石炭に転換すべきと考えるが、この認識は誤りか。

電源別発電電力量の実績および見通し



(注) 石油等にはLPG、その他ガスおよび瀝青質混合物を含む
 四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある
 発電電力量は10電力会社の合計値 (受電を含む)
 グラフ内の数値は構成比 (%)